

校長室だより



H26 (2014) 年 NO.9 岸和田市立浜小学校 渡瀬 克美

PTA 実行委員会で、学校からは こんな話をします。

ソチオリンピックが終わりました。メダルを取る・取らないにかかわらず、たくさんの感動を与えてくれました。そして、最後まであきらめないことのねうちを教えてくれた素晴らしい大会でもありました。さらに、選手が必ず口にする「感謝」という言葉を聞いて、彼らが単にスポーツだけが上手ではなく、人間的にも素晴らしい人たちだな！と強く感じました。平和であるからこそスポーツができることも、改めて思いました。

さて、本来は、2月14日に予定していた実行委員会ですが、大雪のため3月7日に変更しました。そこで、その席でお話しさせていただく趣旨を紙面でお知らせいたします。7日の実行委員会ではこれらをもとに、担当者から報告しますが、その時にご質問等あればぜひお願いします。

【研究推進委員会】片岡永子 首席教諭より

子どもたちは学校に学習に来ています。学習がわかれば学校が楽しく充実したものになります。そこで、わかる授業・楽しい授業をめざし、今年度も研修を重ねてきました。今年も3回、ある先生の授業を全員で見るという公開授業を行いました。公開授業の前には、この1時間で子どもたちにどんな力をつけたいのか、そのためにはどうすればいいのか、また、授業の後には、よかった点や改善すべき点などを話し合い、私たちの授業力UPを目指しました。

学習の方法として、子どもたちはまず、自分一人で考え、そのあと意見交換をします。その中で、友達の考えのよさ、自分の考えのよさに気付き、自尊感情が育ち、そのことが、次へのやる気につながります。学習の終わりには、この1時間でわかったことを自分の言葉でまとめることにより、学習面だけではなくいろいろな問題を言葉で解決できる力も育ってきています。一方、子どもたちにもっとつけてあげたいかも明らかになってきました。それは、文章をしっかりと読みとる力。学習面だけでなく、生活面においても読み取る力は不可欠です。子どもたちは大変落ち着いて学習に、行事に取り組んでいます。私たちは来年度もさらに研修を重ね、子どもたちの充実した学校生活をサポートしていきたいと考えています。

【生活指導委員会】桂 久栄 指導教諭より

大きな事故やケガもなく過ごせた一年間であったと思います。学校全体が落ち着いた環境で学習に向かうことができました。これもご家庭のご協力あってのことだと深く感謝いたします。しかし、まだまだ高みをめざすための課題もあります。

①返事の声がない。挨拶の時の声が小さい。

ななまち通信でも書かせていただきましたが、集会時、表彰してもらう際の名前の返事。声が小さくて残念です。挨拶や返事は、常に大きな声でできるように声がけしていきたいと思っています。

②放課後、校区外へ出かけるということ。

カンカンは大変近くではありますが、校区外です。家の用事ならまだ分かるのですが、遊び、ゲームセンターを目的に出かけるのは他校とのトラブルに巻き込まれに行くようなものです。大変危険だということをご家庭でも話し合ってもらえるとありがたいです。また、子どもたちだけでUSJ等へ出かけることも大きな事件に巻き込まれかねないので、『禁止』とさせていただきます、と学校側では指導しています。ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

昨年度は道路上でのだんじり遊びやペニー遊び禁止についてのお願いを繰り返してきました。おかげ様で少しずつ子ど

あいさつをしよう



もたちに浸透していっているように思います。今年度は『挨拶・返事の声、校区外へ出かけない』ことについてお願いさせていただきます。

一年間ご協力有難うございました。これからもどうぞよろしくお願いします。

【人権推進委員会】河野 佳陽子 教諭より

今年も職員が力を合わせて、浜小学校の人権教育の目標である「お互いの良さを認め合い、相手の立場に立って行動できる子を育てる」をめざして、人権教育に取り組んできました。目標を達成するために私たち職員も、子どもの心に寄り添うことを一番に考え、子どもとしっかり向き合い、子どもの話をじっくり聴き、子どもの心を理解していくことに努めてきました。丁寧な、思いやりのある言葉を職員から使い、心豊かな生活が送れるようにするためにも「さん」をつけて名前を呼ぶことも継続しています。



また、自分がクラスや学校で大切な存在であると子ども自身が気づくこと、つまり、自尊心を育てるために、運動会や音楽会などの事前・事後にアンケートを行いました。事前には、自分がどのような気持ち、めあてを持って参加しようとしているかを、事後には行事に参加した自分を振り返ることができるようにしました。これにより、子どもたちは、自分の役割に責任を持って積極的に行事に参加できています。保護者の方には、子どもたちに励みとなる温かいメッセージを書いていただき、有難うございます。

各学年の取り組みとしては、車いす体験、アイマスク体験などを通して障がい者理解の学習を行ったり、学習参観で人権に関する学習を参観していただき、保護者の方には学校で取り組んでいることを、学校便りや学年便りなど、いろいろな機会でご知らせしてきましたが、さらに具体的に学習内容などがお伝えできるようにしていきたいと考えています。浜小学校の子どもたちは自分も、そして、友達も大切に出来るように育ってきていると感じています。これは保護者の方々のご理解とご協力のお陰です。ありがとうございました。来年度もさらに人権教育に力を入れていきたいと考えています。一年間ありがとうございました。

【特別活動・児童会】濱田 樹哉 教諭

今年度もたてわり活動を中心に児童会活動を行ってきました。5年生6年生が班長・副班長という形で中心となっていたわり班をまとめ、活動に取り組めました。主な活動としまして、6月のなかよしまつり、10月運動会、12月たてわり遊びの会、1月、はまっ子チャレンジ、2月、6年生の遊びの会、3月、6年生を送る会、そしてあいさつ運動、募金活動と多くの行事を子ども主体として取り組むことができました。今年度、子どもたちが中心となって行事を行う力がついてきていると実感できた一年だったと思います。

来年度は、現4・5年生に中心となってもらい、引き続き子どもを主体とした児童会活動を行って参りたいと思います。

【保健体育（体育）部】手塚 隼 教諭より

体育的行事としては本年度もスポーツテスト・学校水泳・運動会・持久走記録会と大きく4つを行い、児童と教師がそれぞれ目的をもって取り組めることができました。また行事のたびにPTAの役員様をはじめ保護者の方のご協力にも大変感謝しております。

先日の持久走記録会のことをお話しします。全体として自分のペースで走り続け、途中で歩くことなくガンバル児童がとて多くなったなあと感じました。毎年続けている朝の練習とペースランニングを子どもたちはよくガンバルことができていたので、その成果がでたのかなあと思います。インフルエンザによる学級閉鎖の影響で延期となった学年もありましたが、大きなケガをする児童もなく終えることができて本当に良かったです。

体育主任として行事を運営してみて感じたことですが、準備、企画、進行、片付けまですべて子ども自身が主体となって取り組む様子を見て、本当に力がついてきているなど感じました。また、4年生の担任をして、このような仕事を通して、子どもたちがこの一年間で大きく成長したことも感じられました。子どもたちが自分で動く力が浜小学校ならではのようになっていと感じます。来年度もよろしくお願いします。



『ようこそ先輩』 関西学院大学吹奏楽部 来校！！

トランペット

12年前に担任した柿本修平さん(関学4年生)が母校にやってきました。大きなチューバ担当です。他に大学から司会者、トランペット3人、トロンボーン2人、ユーフォニウム、ホルン、(各1人)計9人です。演奏してくれた曲は、どりのトロ、ア・ホールニューワールド、あまちゃんのテーマ、AKBメロデーなどでした。最後は浜小学校の校歌を演奏してくれ、みんなで歌いました。生演奏はすごいね！在校生も卒業した後、彼らのように浜小学校に戻ってきてほしいです。